

隊友夷隅だより

NO21 号令和5年2月1日発行：千葉県隊友会夷隅支部（いすみ市大原台 317-2）

TEL0470(63)0161 FAX0470(62)6306 編集：支部長 高橋 清三



【令和5年度夷隅支部総会開催】年1回の支部総会は、コロナ禍3年経過し行動制限等は無くなった為通常総会形式で、R5年1月28日（土）午前11時から、御宿町「海楽御宿1F」で支部員8名参加で開催されました。今年度活動方針（案）として、昨年度に引き続き各市町長（防災担当者）と区域担当下志津自衛隊部隊長（310高射教導隊中隊長）との面談を隊友夷隅支部員が事前に打ち合わせをし3者面談を行う事が、5月中に実施すること。

又新たに、支部会員増強の為に、防衛（防災）セミナーを開催する事等、今年度は特に会員減少している為、防衛セミナーを開催して、防衛、防災に関心のある方を中心に会員を増やす事を決定しました。各担当割が決議されました。総会終了後は、例年に習い同場所で開催「新年会」を開催し、14:00終了解散しました。

令和5年度夷隅支部方針

千葉県隊友会方針に沿った、防衛意識の普及高揚に努め、地域防災施策として、各夷隅地域行政首長及び防災担当者、自衛隊災害派遣区域担当部隊長と3者面談定例会議を実施し、現自衛隊員家族安否確認支援協力するとともに、「沖風」慰霊顕彰事業を積極的に推進し、年1回の総会を開催に併せた新年会等、会員の福祉、親睦の為に事業を継続しつつ、車移動ウォーク（花見会を兼ねた）健康つくりと会員拡大を主眼とした防衛、防災セミナーを開催する

【旧海軍駆逐艦沖風慰霊祭行われる】令和5年1月10日

（火）午前08:50分勝浦市川津港

近くにある「津慶寺」宇野住職による慰霊祭が行われ、祥月命日となる1月10日に、遺族関係者、隊友会夷隅支部員5名が参列見守る中厳かに営まれ、午前9時40分に終了し解散しました。夷隅支部は、公益社団法人「隊友会」として、戦没者慰霊顕彰事業

の1つとして2013年（H26年）前

隣接長生支部長幸治昌秀様から引き継ぎ10年目にります。この機会に「平和観音像」沖風慰霊碑がある川津港高台景勝地を公的機関へ史跡指定されるよう働きかけ活動を開始したいと思えます。



12/3「富津市民の森紅葉散策」

【親睦事業に車移動ウォークと毎月開催巡礼実施】現在の「車移動ウォーク」は、春夏、秋、冬の4回ですが、これに加えて、毎月1回、生涯健康維持を目的に房総の自然に親しみ「身近な観光と楽しく心旅巡礼を兼ねた健康散歩」を開始しました。現在会員外の方々含め13名登録「新上総国三十三観音霊場」巡り、安房の国巡り、下総の国巡りを計画しています。いつでもどこからでも参加自由です。



巡礼を兼ねた健康散歩

【会員紹介】：今回は、以前紹介（令和元年県隊友会個人表彰された）した、夷隅小高分会長を再度ご紹介します。1 昨年夏頃、本業の筍山手入れ作業中、運搬車が、急坂で滑り出し、腰骨にあたり入院、リハビリしながら、昨年は、筍山手入れ、収穫作業は、出来ず、夷隅支部に相談があり昨年は会員等で交代で、タケノコ収穫、草刈り作業を実施しました。今年も、本人は、本格的に回復出来ず、夷隅支部にお世話になりたいと旨お話がありました。会員の皆様には、春先 3 月～5 月の間、週 1 日（半日）でもいいので、ご協力お願い申し上げます。

【活動報告】令和4年9月～令和5年1月

日 時	行事（活動）	参加者等
9月1日（木）	「隊友夷隅だより」第20号発行	
10月5日（水）	「車移動ウォーク」秋号木更津コスモスロード（雨の為、歩きは中止、巡礼説明会	13名
11月26日（土）	後期夷隅支部会議「大原台自治会館」	7名
11月27日（日）	「沖風」平和観音像周辺草刈り清掃	3名
12月3日（土）	「車移動ウォーク」冬号富津市民の森	13名
R5年1月10日（火）	「沖風」慰霊祭 勝浦市川津港	5名
R5年1月28日（土）	夷隅支部総会「新年会」御宿海楽	8名

【会員動向】

終身会員で、勝浦市在住の細谷光男氏が R4年 12 月に活動参加出来なくなった旨連絡がありました。長い間の支部活動ご参加、ご支援、ご協力に感謝申し上げます。

真にありがとうございました。

【編集後記】

昨年 8 月全国版「隊友」紙に、読者の庭欄に「夷隅支部」活動が掲載されていたことが、これからの「隊友会活動」主流になって行くのではと思う次第です。実際に、2020 年 12 月、2021 年 1 月に 2 度に亘、いすみ市に「鳥インフルエンザが発生」し、自衛隊の災害派遣が行われました。夷隅支部は、派遣部隊習志野第 1 空挺団に激励品をお届けした。この時の反省点から、不眠不休で活動する隊員の交代要員の仮眠、休息、入浴等、受け入れ自治体の施設手配の不十分、緊急事態対応不足が露呈した為、日頃より、近隣自治体と協力して、災害発生時の対処依頼を夷隅支部は、担当部隊長と各市町長と面談を重ねています。隊友会は、国民との懸け橋としての地域社会貢献、これまでの自衛隊を国民に理解してもらうための活動が多かった様に思われるが、小さな夷隅支部の地域社会貢献は、災害は突然起こりえるので、今後は、自衛隊が活動しやすい環境づくりに尽力すべきことが、紹介されていました。